

文化女大 畠中千恵子
 中屋 典子
 島崎 瑞江
 鈴木千代子
 高木まり子
 ○中沢 けい

1. スラックスを製作する場合いろいろの疑問点を生じる。スカートと違い足を包み、かつ機能と美的要素が要求され、各自が製作する場合でも体型による補正個所が比較的多くみられる。補正での問題点を考えてみても結局体型別の作図で解決することが最適ではないかという結論に達し、その研究を始めた。今回は、その目標の一步として体型の分類を発表する。

2. 学生・教職員51名対象として下半身の計測、撮影を実施。これらのデータと写真をもとに下記の項目について調べてみた。(1)度数分布表・(2)相関関係・(3)写真による分類(ヒップの形の分類・体型の分類・ヒップの形と体型との関係・ヒップの傾斜〔側面からみた臀部の突出〕・脇シルエット・正面写真による脇シルエットのふくらみ位置・脚勢の分類・ヒップの形と脇シルエットのふくらみ位置との関係)

3. ヒップの形は基本のタイプA・B・Cとその組合わせによるAB・AC・BC・ABCに分類された。脇シルエットのふくらみをみると大腿部のはっている体型が多数であることが確認された。これは作図の際の脇線を描く参考となり、またヒップの傾斜はヒップの形と関連があり、作図上のねかせ寸法を決める目安となる。脚勢の分類により作図上の操作が必要となることがわかった。以上の結果を今後のスラックス研究に応用発展してゆきたい。